

社団法人石巻法人会 平成21年度事業概況報告書

(自：平成21年4月1日～至：平成22年3月31日)

I. 組織関係

1》会 員 数

区 分	21年4月1日	21年6月30日	21年12月31日	22年3月31日	期首比
会 員 数	1,557社	1,500社	1,507社	1,514社	△43社
加 入 率	48.4%	46.7%	47.0%	47.3%	△1.1%
稼 動 法 人	3,215社	3,214社	3,203社	3,203社	△12社

◎会員移動状況

- ・入会会員 23社
- ・退会会員 66社 (休業・廃業 21社 ・ その他事由 45社)

2》役 員 数

(会長 1名・副会長 5名・常任理事 22名・理事 44名・監事 3名)

3》会 議 関 係

- ☆通常総会 1回 ☆監査会 1回 ☆正副会長会議 7回 ☆理事会 4回
- ☆正副会長会議並びに各支部長各委員長会議 1回 ☆支部長並びに厚生委員会 1回
- ☆常任理事会 1回 ☆正副会長会議並びに厚生委員会及び連絡協議会会議 1回
- ☆総務・事業委員会 2回 ☆総務委員会 1回 ☆事業委員会 1回 ☆組織委員会 2回
- ☆広報委員会 5回 ☆広報・情報社合同委員会 1回 ☆連絡協議会 3回
- ☆税制委員会 1回 (アンケート配布：書面上)
- ☆外部関係会議等 (全法連 3回・東北 3回・県連 27回・その他 20回)

4》支 部 関 係

- ☆支部総会・役員会 15回

II. 研修会関係

内 訳	税務関係	税務以外	小 計	ビデオ	参加者数
本 部 主 催	4回	24回	28回	1回	472名
支 部 等	11回	0回	11回		734名
講 演 会	1回	2回	3回		318名
懇 談 会		2回	2回		35名
部 会 等	1回	11回	12回		304名
その他の研修会					
合 計	17回	39回	56回	1回	1,863名

Ⅲ.その他の事業

- ☆ 会員親睦交流会（ゴルフ大会） 1回
- ☆ 移動健診車による定期健康診断 2回（48社 294名受診）
- ☆ 総合健康診断（人間ドック制度） 13名受診 ☆PET検診 57名受診
- ☆ 会報発行 4回

Ⅳ.意見要望事項

- ☆ 平成22年度税制改正要望意見の取りまとめ、及び答申
- ☆ 地元選出国會議員並びに管内首長・議會議長に対する陳情
（平成21年11月13日に地元選出の國會議員並びに市長・町長・議會議長に対し、陳情行った。）

Ⅴ.社会貢献事業

◎「広めよう！違反屋外広告物根絶運動」事業概況並びにその成果

宮城県の違反屋外広告物除却サポーター制度も、地域住民、団体に定着し、それぞれに活動を行っているが、やはり一同に会して行なうことが、士気も高まることと思ひ、7月に一斉クリーン作戦を開催した。今後も、年に数回、一斉クリーン作戦を開催することとしている。

◎「税を考える週間イベント」事業概況並びにその成果

平成20年度より、石巻地区税務関係団体協議会の主催となり、当会事業委員会及び青年部会の主管で、イオン石巻ショッピングセンターを会場に開催した。11日のオープニングセレモニーには、各税務関係団体の代表の皆様が会場のテープカットを行なうことになり、各団体の展示ブースでは、それぞれの団体のPR展示を行なった。また、その週間の日曜日にあたる15日には、1階「緑の広場」等を使用して、各種イベントを開催した。紙芝居や税金クイズには子どもたちも大勢訪れ、楽しんでいただきたながらも、税について考える一日となった。今後もこのイベントは開催するべきと感じられた。

◎宮城骨髄バンク登録推進協議会石巻支部へ「外協力」事業概況並びにその成果

毎年春、秋に開催される骨髄バンク石巻支部イベントへ今回も青年部会が協力した。会場設営・撤収等とオープニングセレモニーへの参加で、今後も青年部会との友好団体として、協力を続けていく。

◎一枚からできる社会貢献「未使用タオル収集寄贈活動」事業概況並びにその成果

私たちの社会貢献事業としてスタートした「ふわふわタオルのプレゼント」も、4年目を迎え、平成21年度も「一枚からできる地域への貢献とネットワークを広げるために！」をキャッチフレーズに法人会会員、女性部会員を中心に、一般の方々からもご協力を得て、石巻地域9ヶ所の老人介護施設等へ、計1,100枚位のまごころをプレゼントしました。

今後は、女性部会員各々のネットワークを広げ、多くの協力者を得ながら「ふわふわタオル」をより多く集めていただき、各施設へプレゼントしていきたいと考えている。

◎「エコキャップ収集活動」事業概況並びにその成果

青年部会では、平成20年度より行なっている社会貢献事業「エコキャップ（ペットボトルのキャップ）収集活動」であるが、更に協力体制が強化され、これまで以上に回収に拍車がかかった。また、オリジナル回収ボックスも作製し、回収協力校に順次配布している。のべ回収数は150万個を超え、売却金額を認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付することができた。寄付金は4万円以上で、ワクチンに換算すると2,000人分以上となった。各協力校もこの運動に理解を示し、更に進ことが予想されるが、協力校からの回収に時間がかかっていることなどが今後の課題となっている。

◎「教育講演会」事業概況並びにその成果

青年部会では、平成21年度の社会貢献事業の一環として、教育現場で奮闘されている先生方に少しでもお役に立てるようにと、教育講演会「魂を揺さぶる本気教育」と題した講演会を、(株)アビリティトレーニング代表の木下晴弘氏をお招きし開催した。

参加された教育関係者の皆様には、大変好評を得た事業となり、今後は、将来の企業の人財とも成るべき子どもたちの教育についても、社会貢献の見地から考えていくべきではと感じられた。

◎「税に関する絵はがきコンクール」事業概況並びにその成果

平成21年度宮城県連女性部会連絡協議会統一事業として、小学生高学年を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を実施した。当会からは、262枚の応募があり、その中の一人が、県女連会長賞に選ばれた。

今後は、租税教育の一環として、実施していくこととしている。

Ⅵ.青年部会関係

- 1》正会員数 48名 賛助会員 13名 2》役員数 21名
3》会議関係 ①総会・監査会 2回 ②役員会等 10回
4》研修会関係 ①研修会 2回 ②講演会 2回
5》その他外部派遣会議 20回

Ⅶ.女性部会関係

- 1》会員数 82名 2》役員数 24名
3》会議関係 ①総会・監査会 2回 ②正・副部会長会議・役員会等 11回
4》研修会関係 ①講演会 1回 ②研修会等 5回
5》会員親睦交流会 ①視察研修会 1回 ②親睦交流会 1回
6》その他外部派遣会議 14回